

平成30年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市交流保養センター（大菩薩の湯）				作成日	令和1年7月4日
	所管課担当名	観光商工課 観光企画・宣伝担当		課長名	中村 賢一	作成者名	市川 太一
	指定管理者	名称	株式会社 セイウン				
		代表者	代表取締役 黒川 晴予				
		所在地	埼玉県さいたま市桜区田島9丁目31番地1号				
		指定期間	平成27年4月～平成32年3月(令和2年3月)				
	管理施設の概要	施設所在地	山梨県甲州市塩山上小田原730番地1				
		設置目的	恵まれた自然を活かし、都市と農村地域の交流を促進し、温泉資源を利用して市民の健康と福祉の増進を図るとともに、観光資源としての利用と農業振興に資するため。				
		利用者	市民、市民以外	施設管理体制	9名	開館日時間等	10:00～21:00 (土日祝日・年末年始・臨時休館を除く)
	事業概要	サービス提供の内容					
指定管理業務		(1)交流保養センターにおける事業の実施に関する事。 (2)交流保養センターの使用許可等に関する事。 (3)交流保養センターの料金の収納に関する事。 (4)交流保養センター及び付属設備の維持管理に関する事。 (5)交流保養センターに関する書類の作成及び保管に関する事。 (6)その他、交流保養センターの管理運営に関する事。					
事業概要	自主事業	(1)クリスマスミニイベントの実施 (2)大菩薩寄席 (3)ドックラン・ドックスパの設置 (4)秋祭りの実施 (5)介護予防、認知症予防教室 (6)山の日抽選会					
	管理運営コスト推移(千円)	平成27年度(指定期間1年目)	平成28年度(指定期間2年目)	平成29年度(指定期間3年目)	平成30年度(指定期間4年目)	平成31年度(指定期間5年目)	
予算	指定管理料	6,480	6,480	6,480	6,480		
	利用料金収入	27,714	29,380	28,350	29,400		
	その他収入	19,565	17,820	17,785	19,550		
	管理運営経費	53,759	53,678	52,615	55,430		
決算	指定管理料	6,480	6,480	6,480	6,480		
	利用料金収入	28,373	26,069	27,264	29,433		
	その他収入	17,495	16,090	18,138	20,123		
	管理運営経費	51,940	51,903	56,794	59,947		
収支	408	-3,264	-4,912	-3,911			
施設の稼働状況	平成27年度(指定期間1年目)	平成28年度(指定期間2年目)	平成29年度(指定期間3年目)	平成30年度(指定期間4年目)	平成31年度(指定期間5年目)		
指標	施設利用者数(人)	68,507	66,639	70,510	78,321		
	活動結果	・収支は平成29年度よりも赤字が改善された。12月～2月にかけてツアーの団体のお客様が入り月に2,000人～3,000人増やすことができたため、収入が伸びた。支出に関しては燃料費は燃料高騰もあり増加していった。自主事業に関しては計画通り行っていない。					
CHECK	評価観点	評価(5 4 3 2 1) 高→低	評価の説明				
	(1)事業の運営	2	・毎年利用者数が減る時期の12月～2月にかけてツアー客を入れる努力を行ったが、他の月に関しては利用者数は昨年度と比べ減少となった。また、自主事業は計画通りに行われていない。				
	(2)施設の維持管理	3	・日常点検、法定点検と着実に行われている。また、職員研修、ミーティングと定期的に行われている。館長不在時期はなかったが、年に3回館長が変わるなど定着率が悪かった。				
	(3)収入支出	2	・12月～2月にかけてツアー客があったため収支計画通りの収入となった。支出に関しては、燃料高騰による燃料費の増加があり支出が増えている。より一層経費削減に努める必要がある。				
	(4)総合評価	総合評価の説明(施設所管課による一次評価)					
優良 良好 妥当 要改善 不適	要改善						
平成30年度評価結果に対する今後の対応							
ACTION	当面の課題	・平成30年度はツアー客が入ったため利用者が増加したが、今後も継続して利用者を増やして行く必要がある。					
	課題解決への対応	・登山客が大菩薩の湯に入るようなPR活動が必要であるため、引き続き団体客の誘致など積極的に営業を行うよう求めていく。					
二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様化する利用者ニーズに対応した自主事業を行い、施設利用者の増加に努めている。</li> <li>・収支は赤字となっているが、昨年度より燃料費が高騰するなか収支が改善している。</li> <li>・不特定多数の方が利用する施設であるため、引き続き、施設内を清潔に保つとともに水質管理や安全管理を徹底する中で、サービスの向上に努めていただきたい。</li> <li>・自主事業の計画変更については、基本協定書に基づいた適切な手続きを行っていただきたい。</li> </ul>							